



# 研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団  
八王子研修農場  
(発行責任者)  
農場長 小寺孝治  
(無料)

## やるべきことに集中 & 信頼を築いていこう

# 夢や可能性を拓げ、着実に一歩ずつ!

4月から新たに第7期生と職員が加わり早くも3ヶ月が経過。暑さや雨とも上手く付き合いながら、頭と体をフルに使い、新規就農に向けて日々研鑽に励んでいる。

### 経験を力に、未来を創る

新規就農を目指し、2年生(6期生)は、将来の就農モデルに沿った実証栽培を本格的にスタート。派遣研修や講義もあり、毎日ハードであるが、仲間同士で刺激を受けながら、充実した日々を送っている。

### 研修生の今

1年生(7期生)は、毎日「初めて」の連続。気づけばあつという間に3ヶ月が経った。作物の生長の速さに驚いたり、見たことのない害虫や病気に対応したり、出荷や販売も経験しながら、実践の中でどんどん力を付けてきている。

### 第6期生の感想など

今年梅雨らしい天気が続き、日照不足や多湿などにより、生育不良や品質低下、病害虫の発生リスクも高かった。それでも、皆で細やかな管理を徹底してきたことから、農作物はほぼ順調に生育させることができた。梅雨時期は雨が多

派遣先の農家さん、東村山市に就農した先輩との関わりも一層増した。そのことにより、自分の理念に応じた、学校給食への出荷や直売所での販売ができるようになるなど、販路の確保が出来たことも大きな喜びである。

②野菜の管理に加え、雑草管理も常に注意していきなさい。また、体力作りも行いながら、自治体へ提出する経営計画づくりなど、やや苦手な作業等にも力を入れていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

調整等を行ないとても勉強になっていく。②現在アカデミーで栽培している、シヨウガ、ネギを主力に就農していくことをイメージしながらしっかりと技術を習得していきなさい。

②今後、イチゴの育苗、ソバの育苗、ミニトマトの収穫、抑制トマトの定植など、大変そうだがとても楽しみだ。来年の就農に向けて販路開拓も進めていく。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

繋がりが積極的になり組んでいきなさい。③現在の不安や課題等では、もう少し農地を確保したい。貸借する農地を就農開始までに栽培可能な状態に整備したい。資材置き場の確保。就農予定地の雑草対策(手が回らず苦戦)など。

②就農を見据え、収益性も考慮した自分に合った作物を選んだ上で、具体的な作

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

付計画のコミュニケーションを重ねる。日々の作業をこなすだけでなく、今から実践的な計画力を養うことに注力していきなさい。

②栽培知識とともに現場での作業を体で覚えることに注力したい。暑い夏に負けないよう体力作りに励み、自己管理しながら全力で取

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

②栽培技術の向上はもちろんです、就農を見据えた圃場の整備や道具・作業環境の確保、さらには経営計画の策定など、必要な準備を計画的に進めていきなさい。

### 4～6月の主な出来事

(4月)

- 7日 入講式、9日アグリノート研修、14日 あきる野市農地調整
- 16日 農業機械研修、委託契約KOM、19日 日野トマトフェス出店
- 23日 樹木調査、24日 事業説明会、28日 果菜類定植
- フードバンク提供 3、6、8、10、13、17、20、22、24、27日

(5月)

- 1日 進行管理、11日 青梅市農地調整、13日 熱中症予防講話
- 14日 マナー研修、事業報告、15日 新規事業委託内容調整
- 21日 総務局グル観視察、26日直売、27と29日 新規就農農家調査
- フードバンク提供 1、8、11、13、15、18、22、25、27日

(6月)

- 1日 産労局長視察、2日 LocalDive来所、4日 理事会
- 5日 運営協議委員会、10日 JA東京中央会挨拶、5、19、26日 直売
- 23日 局長プレゼン、25日立川・西東京市挨拶、26日 評議委員会
- フードバンク提供 1、5、8、10、12、15、19、22、24、26、29日

り組む。商品価値・品質を高められるよう栽培技術の基礎をしっかり固めたい。



**喜久山さん**：①農業経験のない私にも分かりやすく指導してもらっている。スタッフの皆さんの経験や知識を体感できる環境に毎日同期と『ありがたいね』と話している。私達が播種した夏野菜も日増しに収穫量が増えてきている。支えてくれる皆さんへの感謝を忘れず、皆で猛暑の中の作業を乗り越えていきたい。



**城さん**：①毎日、学ぶことが多く、農業の奥深さや難しさを実感している。研修にも少し慣れてきた時期だが、気持ちを引き締め、頭と身体をフルに使って、日々の学びを自分の中に深く根づかせていきたい。

②栽培管理や農業技術の基本をしっかり身につけることが大切だと感じている。作業の手順を覚えるだけでなく、「なぜそうするのか」を理解し、本



質を捉えながら実践力を養っていききたい。

**竹内さん**：①毎日が新鮮な学びの連続で、濃密かつ充実している。教わることは多岐に渡るが、研修生一人一人に全力で向き合ってくられるアカデミーの皆様に感謝。一つでも多くのことを学び、自分の力として身につけていきたい。



③現在の不安や課題等では、一人でどれだけ実践できるかという不安。栽培技術の向上に加え、農家として必要な経営力や体力、人間力なども高めていきたい。農業用語を覚えるだけでなく、一日中、圃場で作業できる体力をつける。責任もって自ら行動できるように今のうちに判断力や作業の正確性を磨くこと、等々であった。

以上、研修生の感想等を聴き、改めて一人一人の課題に向き合い、協力・連携しながらしっかりと対応していききたい。

これまでの天候

4月は寒の戻りもあったが平均気温はやや高く推移。5月は+1~2℃で、真夏日も多かった。6月もやや気温が高く、梅雨入り後から蒸し暑い曇天が続いた。降水量は特に6月が平年の倍と多かった。今後、猛暑寄りの夏になると予想されており、暑さ対策もしっかり講じていきたい。

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願いします！なお、直売情報はこちら早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左下QRコードより可能。



研修農場スナップ

2026年 4~6月



4月早々、新緑が芽吹き始めた頃、タマネギ畑にて、研修生と研修農場スタッフ全員で記念撮影



1年生は4月早々に各種農業機械の安全講習を実施。その後は圃場実習で様々な機械を動かすようになる。



2年生は各自の作付計画どおり、4月から収穫を始める人も



研修以前に重視している、挨拶、販売・接客などについては、プロ講師を招いてのマナー研修を実施



入講後はすぐに夏野菜の作付けが始まる時期！野菜の特性はまだよく分からなくても、土づくりや植付け方法などの作業を身体で習得している。

2年生たちは就農後に導入を予定している作物の栽培管理に一生懸命に取り組む



タマネギの出荷作業(上)



タマネギの収穫後に皆で出荷PR用に写真を撮った(右)上。



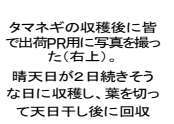
農総研の坂本主任研究員から東京の土壌について講義を受けている1年生



初の直売で販売員となる1年生たちが作成したPOPIは直売で活かすことができた。



第2の販売員となるPOP POP作成のプロから秘訣を教授



晴天日が2日続きそうな日に収穫し、葉を切って天日干し後に回収



今年も来ました！電気柵もしているのにと思ったら、なんと、スイッチがOFFだった隙にやられた。犯人はハクシンがアラライグマのようだ！



6月中下旬に収穫したジャガイモ、今年は例年以上の豊作だった



トマト、ナス、キュウリ、スイートコーン、エダマメのほか、6月中旬以降は様々なチャレンジ品も収穫できている



キュウリの収穫ははじめを祝して1年生みんなでパチリ

